

建築物の既存の塀の安全点検について

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震では、塀の倒壊による死亡事故が発生しました。

ブロック塀については、建築基準法の構造基準を満たしていないもの、老朽化で品質が低下しているもの等は、地震時に倒壊による二次災害を及ぼす危険性があります。

ブロック塀の所有者・管理者のみなさまにおかれましては、「ブロック塀の点検のチェックポイント」を活用し、適切な維持管理に努めて頂きますようお願いいたします。

安全点検の結果、危険性が確認された場合は、速やかに付近通行者への注意表示を行うとともに、適切な補修及び撤去等の対策を行うようお願いいたします。

担当

陸前高田市建設部建設課

電話：54-2111

(内線401・402・403)

ブロック塀の点検のチェックポイント

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

1. 塀は高すぎないか

・塀の高さは地盤から2.2m以下か。

2. 塀の厚さは十分か

・塀の厚さは10cm以上か。(塀の高さが2m超2.2m以下の場合は15cm以上)

3. 控え壁はあるか。(塀の高さが1.2m超の場合)

・塀の長さ3.4m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁があるか。

4. 基礎があるか

・コンクリートの基礎があるか。

5. 塀は健全か

・塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

6. 塀に鉄筋が入っているか

・塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも 80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
 ・基礎の根入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2m超の場合)

組積造(れんが造、石造、鉄筋のないブロック造)の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から1.2m以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ4m以下ごとに、塀の厚さの1.5倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

<専門家に相談しましょう>

- 6. 基礎の根入れ深さは20cm以上か。

